

英語上級者への道～Listen and Speak

第8回 アルツハイマーとともに生きる

日本語訳

■ Dialogue for Introduction

E: テツ、君はよくよその場所へ行って、先生方に会っているよね。

T: そう。よく先生方のためのセミナーや研修会に招いてもらっているね。昨年、高等学校の先生方の関心事の一つは、ここ日本における英語の授業についての新しいガイドライン(新学習指導要領)でした。今や授業は「英語」で教えられるべきなのです。その結果、私は、英語だけで講演やワークショップをする機会が、これまで以上にあったよ。

E: それって、日本での英語教授における画期的革新的な出来事では？

T: そうだね。「英語の授業は基本的に英語で」というこの考えは、英語を使うこと自体が大切というわけではなくて、4つの分野、具体的に言うと、「話す」「聞く」「読む」「書く」という分野での生徒たちの技能を高める、ということにあるんだ。

E: なるほど。もし、教師が文法や文構造をすべて英語で説明しながら、単に、立って、講義をする、そして生徒たちは、ただ聞いてノートをとるというのでは、生徒たちは、生きた英語の技能を高める機会を逸するということになる。このようなことがあってはいけない。教師は、英語でのやりとりをする活動を盛り込むように、気を付けるべきだね。これで、教室の中に、英語の文化が作られる。

T: そうだ。教室に英語の文化、これは、大切な標語になりつつあるようだよ。でも、正直に言うと、セミナーや研修を完全に英語だけで行うのは、私には、より疲れることなんだ。

E: もちろんそうだね。外国語を話しているとき、脳は、普段より活性化しているからね。でも、テツ、知っているかい。それって、アルツハイマーを予防してくれるんだよ。まあ、まだその年齢に君は…その…達してはいないがね。でも、つまり、アルツハイマーの症状が現れるのを予防してくれるんだ。

T: すばらしい情報だね。今月のパッセージは、そのことについてだから、このへんで僕たちの話はやめにして、次へ移ろう。

E: そうだね。みなさん、用意はいいですか。

T&E: 行ってみましょう。

■ Listen to the passage and answer the two questions that follow

アルツハイマーとともに生きる【2012-1 1st】

もう一つほかの言語、つまり外国語を学ぶ利点は、仕事に就く機会を広げてくれたり、多文化の友人を持つたりするということにはとどまらない。2010年に行われた研究によれば、2か国語を使う能力は、多くの老人がかかるとされる脳の病気であるアルツハイマーの症状が現れるのを遅らせることができる。アルツハイマーの症状には、「記憶をなくすこと」「問題解決能力の衰え」「精神的な混乱」がある。カナダのオンタリオにある、Rotman 研究所のチームがアルツハイマーと診断された200人の患者の記録を研究した。そのうちの約半数が、2か国語を話した。研究者たちは、2か国語を話す人たちには、症状が平均して4年から5年遅く現れたことを発見した。

チームのリーダーである Ellen Bialystok は、これは、「2か国語を話す人が、アルツハイマーにかかるのが遅いことを意味しているのではない」と強調する。

彼女によれば、2か国語を話す患者は、アルツハイマー病の影響にうまく対処しており、正常な機能を

続けているのだという。

人間の脳には、関連した情報に集中し、邪魔なものを無視するのに役立つ、一種の中央制御システムがある。2 か国語を話す人が、話をするときには、彼らの脳は、二つの言語から言葉を思い出し、そして、この制御システムが、どちらを使うのか、選んでいる。Bialystok は、2 か国語を話す人々は、この制御システムをより頻繁に使うので、その能力が向上し、アルツハイマー病の症状が現れるのを予防している、と主張する。

【質問】

次の2つの質問にそれぞれ30秒以内で答えて下さい。

No.1 2010年の研究は、アルツハイマーについて、どんなことを示唆していますか。

No.2 Eleen Bialystok は、2か国語を話す人々について、どんなことを信じていますか。

■Let's study vocabulary and expressions

語彙表現を学びましょう。日本語を聞いて、エドワードのあとについて繰り返してください。

1	～以上のことをする	go beyond
2	就業チャンス	career opportunity
3	2か国語を使う能力	bilingualism
4	問題解決能力	problem-solving ability
5	(記憶、精神の)混乱	confusion
6	～と診断される	diagnosed with～
7	現れる	emerge
8	～に対応する	deal with～
9	正常に機能する	function normally
10	中央制御システム	central control system
11	関連情報	relevant information
12	邪魔なもの	distraction
13	思い出す	recall
14	性能、能力	efficiency

■Listen to the passage and once more answer the two questions that follow

アルツハイマーとともに生きる【2012-1 1st】

もう一つほかの言語、つまり外国語を学ぶ利点は、仕事に就く機会を広げてくれたり、多文化の友人を持ったりすることにはとどまらない。2010年に行われた研究によれば、2か国語を使う能力は、多

くの老人がかかると脳病であるアルツハイマーの症状が現れるのを遅らせることができる。アルツハイマーの症状には、「記憶をなくすこと」「問題解決能力の衰え」「精神的な混乱」がある。カナダのオンタリオにある、Rotman 研究所のチームがアルツハイマーと診断された 200 人の患者の記録を研究した。そのうちの約半数が、2 か国語を話した。研究者たちは、2 か国語を話す人たちには、症状が平均して 4 年から 5 年遅く現れたことを発見した。

チームのリーダーである Ellen Bialystok は、これは、「2 か国語を話す人が、アルツハイマーにかかるのが遅いことを意味しているのではない」と強調する。

彼女によれば、2 か国語を話す患者は、アルツハイマー病の影響にうまく対処しており、正常な機能を続けているのだという。

人間の脳には、関連した情報に集中し、邪魔なものを無視するのに役立つ、一種の中央制御システムがある。2 か国語を話す人が、話をするときには、彼らの脳は、二つの言語から言葉を思い出し、そして、この制御システムが、どちらを使うのか、選んでいる。Bialystok は、2 か国語を話す人々は、この制御システムをより頻繁に使うので、その能力が向上し、アルツハイマー病の症状が現れるのを予防している、と主張する。

【質問】

次の 2 つの質問にそれぞれ 30 秒以内で答えて下さい。

No.1 2010 年の研究は、アルツハイマーについて、どんなことを示唆していますか。

No. 2 Eelen Bialystok は、2 か国語を話す人々について、どんなことを信じていますか。

■Repetition and Interpretation Drill

英文がポーズ付きで読まれます。また日本語の訳が流れます。

- 1) ポーズの間に英語をリピートしましょう。きちんとリピートできるようになるまで何度も練習しましょう。
- 2) 聞きながら、ポーズの間に日本語に通訳しましょう。モデルの日本語が流れる前に、自分の訳を言い終えることができるように、何度も練習しましょう。
- 3) 英文が聞こえるのと同時に、シャドーイングをしてみましょう。さらにポーズの間に日本語に通訳しましょう。

アルツハイマーとともに生きる

もう一つ別の言語、外国語について学ぶ利点は

仕事につく機会を広げてくれたり、多文化的友人を持つにとどまらない。

2010 年に行われた研究によれば

2 か国語を使う能力は、アルツハイマーの症状が現れるのを遅らせることができる。

アルツハイマーは、多くの老人がかかると脳病である。

アルツハイマーの症状には、記憶をなくすこと、

問題解決能力の衰え、そして、精神的な混乱、がある。

カナダのオンタリオにある、Rotman 研究所のチームが

アルツハイマーと診断された 200 人の患者の記録を研究した。

そのうちの約半数が、2 か国語を話した。

研究者たちは、症状が平均して現れるのを発見した。

2 か国語を話す人々には、4 年から 5 年遅く現れることを発見した。

チームのリーダーである Ellen Bialystok は、

これは、2 か国語を話す人が、アルツハイマーにかかるのが遅いことを意味しているのではないと強調する。

彼女によれば、起こっていることは、

2 か国語を話す患者は、アルツハイマー病の影響に、うまく対処しており、正常な機能を続けているのだ、という。

人間の脳には、一種の中央制御システムがあり、

これが、関連した情報に集中し、邪魔なものを無視するのに役立っている。

2 か国語を話す人が、話をするときには、

彼らの脳は、二つの言語から言葉を思い出し、

そして、この制御システムが、どちらを使うのか、選んでいる。

Bialystok は、2 か国語を話す人々は、この制御システムを、より頻繁に使うので、

その能力が向上し、

アルツハイマーの症状が現れるのを予防している、と主張する。

■ Model Answers

T: さて、エドワード、あなたの答えは何でしょうか。No.1「2010 年の研究は、アルツハイマーについて、どんなことを示唆していますか」。

E: 2 か国語を話す力は、アルツハイマーの症状が現れるのを遅らせる可能性がある、と述べている。

T: ありがとう。No.2「Ellen Bialystok は、2 か国語を話す人々について、どんなことを信じていますか」については、どうでしょうか。

E: 彼女は、2 か国語を話す人々は、特別な形式の言語制御システムを使うので、彼らは、よりアルツハイマーに対して、守られていると考えている。

T: ありがとう。

■ Challenge 1

T: さて、エドワードがみなさんに質問します。答えてみてください。最低 30 秒間は話し続けてください。

E: 2 か国語を話す能力は、頭に損傷を与えるかもしれない。外国語を話している時、その人は、苛立ちや、挫折を感じたりする。外国語で話せば、それだけ、アルツハイマーにかかる可能性があるというのは、本当だろうか。

E: 解答例です。では、テツの答えを聞いてみましょう。解答例を示してくれますので、自分の答えと比べてみてください。

T: いいえ。その逆です。2 か国語を操る能力は、アルツハイマーの症状が現れるのを遅らせてくれる可能性がある。カナダの研究チームが、200 人のアルツハイマーと診断された人たちの記録を研究した。彼らの半分は 2 か国語を話した。その病気の症状は、2 か国語を話す人たちには、2 か国語を離さない人たちよりも、ずっと遅く現れた。

■ Challenge 2

E: 聞いてください。次の意見に対して、少なくとも 1 分間、反対意見を述べてください。みなさんの発言には、先ほど聞いたパッセージにあった、いくつかのポイントが含まれていなければなりません。用意はいいですか？

T: ある研究によれば、アルツハイマーの症状が、2 か国語を話す患者には、平均して 4、5 年遅く表れる。これは、その人たちが、アルツハイマーに、4、5 年遅くかかるということを意味しているのですか。

T: 解答例です。では、エドワードの答えを聞いてみましょう。解答例を示してくれますので、自分の答えと比べてみてください。

E: いいえ。アルツハイマーに遅くかかることを意味しているわけではありません。2 か国語を話す患者たちは、アルツハイマーの影響への対処が、より上手で、彼らの脳は、正常に働きつづけるのです。2 か国語を話す人達がしゃべるときには、脳が二つの言語から単語を思い出す、そして、脳の中央制御システムが、どの単語を使うのかを選ぶ。こんなふうに、2 か国語を話す人たちの脳にある制御システムは、より多く使われる。制御システムは、より高い能力を持つようになる。そのシステムの能力が、アルツハイマーの症状に対する防御を与えてくれる、またその防御を向上してくれるのです。

■ Closing Dialogue

E: 2 か国語が話せることの利益について、より学ぶことができて良かった。

T: 英語の単語やより良い表現を思い出すのはじれったいけど、このパッセージは、私を勇気づけてくれた。そうだ。ところで、エドワード、君はいくつの言葉話すんだい。フランス語とドイツ語はできると知っているけれど。

E: えっと、そうだね。ハンガリー語も少し。すごい！

T: 何が？

E: こんなにたくさんの言葉ができるんだから、私は、おそらく永遠に生きるよ！

T: 何を寝ぼけたことを言っているんだ。

E: 冗談だよ。でも、もう一つ別の言語を話すことに、恩典があるということを知るのは、素晴らしい。

T: そのとおりだ。

E: というわけで、

T&E: またお会いしましょう！